

と辺りは眩しいばかりの風景が広がっていた。  
 小諸城の出城だったと言われるこの高台からは浅間山が手に取るように見え、風景画家なら描かずにはいられない絶好のロケ地である。天候に恵まれた壮麗な風景を目の当たりにして、私は構図など考える暇もなくスケッチを始めた。

**京都支部小品展の報告** 小林志津子

師走に入つてすぐの三日(火)〜八日(日)の六日間、小品展を西宮のギヤラー・雛さんにて開きました。開催の主な目的は、前回と同様チャリティー活動です。

私たちのささやかな活動が少しでも災害に合わせた方々への援助になればとの思いを込めて作品を発表しました。絵画作品の大きさは統一してF0からSMまでとしました。サイズは小さいけれど作品内容は出品した人たちの個性が光る楽しいものばかりでした。

陶器作品も日常使用するぐい呑みや茶碗、又大きな花瓶や造形作品と多彩で、心浮き立つ品ぞろいでした。

この作品群は、ギヤラー・雛さんの場を借りて販売もしました。売れ行きはまずまずだったけれど、色々な方に見ていただき満足しています。

個人的には小さい作品ほど描くのが難しく感じます。小さく描きすぎず、大きく描くとはみ出してしまふ。一人五・六点の数量ですが苦心しました。京都支部員として色々な大きさの作品を発表しますがその都度作品の感想や批評を話し合う中でメンバーの心が一つになっていく気が強くなります。今回もチャリティーの目的に皆で寄り添って達成出来たことを誇りと感じた六日間でした。

シリーズ 画家伝 大石 亨

空想と悲哀を描いた画家シヤガール

マルク・シヤガールは一八八九年、ロシアのヴィテブスクに生まれた。ヴィテブスクはロシアとポーランドの国境に在る街で、シヤガールはこの街を心から愛した。町の人々、動物、土地、空、太陽までみんな彼の心に刻み込まれた。

彼は物静かな、考え深い、絶えず夢想する少年に成長した。絵を描くことが好きで、将来絵描きになることが夢だった。地元「ペン画学校」や、ペテルブルグの「美術保護のための社会学校」を経て、一九一〇年、パリへ出た。パリではアトリエ・エラ・リシュの名で知られる安アパートに住んだ。アパートでは、モディリアニ、レジェ、スーチン、詩人アポリネールなど若い芸術家たちが日夜制作に励んでいた。立体派に興味をひかれたシヤガールはアポリネールにピカソを紹介してくれるように頼んだ。するとアポリネールは、「止めておけ、ピカソに近づくは虜になるのがオチだ」と警告された。以後シヤガールは立体派と縁を切り、ドイツ表現派に興味を寄せた。

一九一四年、シヤガールは故郷ヴィテブスクへ戻った。折も折、第一次世界大戦勃発。以後八年間、モスコで戦争、革命、内乱を目撃しながら制作に没頭した。但し戦争や革命を題材としなかった。

戦争が終わって一九二二年、再びパリへ戻り、制作活動に励み、多くの作品を制作した。

一九三〇年代半ば以後、ナチスヒットラーの台頭、一九四〇年第二次大戦勃発、七月にはヒットラーのパリ侵入、シヤガール一家はアメリカ・ニューヨークへ避難した。

戦争が終わって、一九四七年、シヤガールはパリへ戻った。その後、南仏ヴァンスへ移住、爾来死去するまで版画の制作に没頭した。

シヤガールは故郷ヴィテブスクを思い、空想し、人生の悲哀を感じつつ生涯、制作活動を続けた。一九八五年死去。享年九六歳。

スケッチ会の実施報告と次回予定

事業部 一柳 幸

2013-10-28(月) 白金プラチナ通り

港区白金台から麻布天現寺橋へ通ずる道の一部が通称「プラチナ通り」と言われている。東大医学研究所や松岡美術館があり、モダンなブティックやレストラン、洒落た喫茶店などが点在していてスマートな雰囲気である。いちよう並木も美しく、秋深まれば黄金色の姿を見せてくれるだろう。「天高し 青年紳士 颯爽と」といった姿も見えて好ましい。そんなスケッチ日和でした。

2013-12-9(月) 有栖川宮公園

12月9日、この日2013年最後の日帰りスケッチである。この公園の池の辺りは前から描いて



2013-11-25(月) 巢鴨とげぬき地蔵

この日は肌寒い一日でした。境内のいちようの黄色を期待していたのですが、緑がかなり残っていて狙い通りにはいかなかった。今日は縁日ではないので、参詣人も程々のためスケッチにはむしろこの方がよい位だった。適宜、人物を入れてとげぬき地蔵境内の雰囲気を感しながら、本堂回廊で欄干越しに筆を走らせた。午後、程良いところで画帳を閉じた次第であります。

みたいと狙っていた場所だけに、期待に違わぬ情景を見せていた。冬木立ちの間に秋の名残のように色づいた葉をとどめて黄葉紅葉がいい調和を見せていた。冬の空は晴れていても、冬木立と残葉にも、そして池の水面にも、日本の風景ならではのグレー系と、そこはかたない潤いがある。筆をおいてから、当然のことながら、ささやかな忘年会の一席が有終の美でありました。

支部展情報

- さきたま支部展 2014-2-3(月)〜7(金) さいたま市 氷川の杜文化会館
- 京都支部展 2014-3-26(水)〜30(日) 京都府京都文化博物館 5階
- 神奈川支部展 2014-4-1(火)〜6(日) 川崎市 アートガーデン川崎
- 千葉支部展 2014-4-22(火)〜27(日) JR我孫子駅隣接 けやきプラザ 2Fギャラリー
- 埼玉西支部展 2014-4-29(火)〜4(日) 川越市立美術館 市民ギャラリー 1階
- 多摩支部展 2014-5-7(水)〜13(火) 八王子市 ギャラリー新 1階
- 埼玉東支部展 2014-5-23(金)〜27(火) さいたま市 春日部商工センター4Fギャラリー
- 東京支部展 2014-5-26(月)〜31(土) 文京シビックセンター 1階

次回予定

当日 7 時の天気予報で降水確率 50%を超える場合中止します。

- 東大三四郎池 2014-1-27(月) 東大赤門前 10 時集合
- 上野動物園水族館 2014-2-17(月) 上野動物園入口 10 時集合
- 湯島聖堂 2014-3-24(月) JR御茶ノ水駅出口(東京駅方面) 10 時集合